

# 令和5年度 日向市立財光寺小学校 自己評価及び学校関係者評価書

## 学校経営ビジョン

【学校の教育目標】たくましく、なかよく生きる、かしこい財っ子の育成

【学校経営ビジョン】「チームで、子ども一人一人を大切に作る学校」

①一人一人に将来必要な力をつける学校 ②職員、保護者、地域みんなが教育に関わる学校 ③笑顔あふれる学校

評価項目	教師アンケート	評定	保護者アンケート	評定	児童アンケート	評定	総合評定	保護者コメント	結果分析	評価	学校関係者 評価コメント	
一人一人を大切に作る学校	楽しい学校	① 児童が、楽しく学校で過ごせるよう手立てをとっている。	3.3	① お子さんは、楽しく学校に通っている。	3.5	① 学校は楽しい。	3.6	<b>3.5</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年生で泣いていく日もありましたが、帰ってくると楽しかったと笑顔です。励まして、前向きに取り組ませてくださる先生方に感謝です。</li> <li>・とても楽しく学校に通っています。先生方も寄り添ってくれていて、よく子供からも先生方の話を聞きます。地域のみなさんや保護者の方々協力している姿をよく見ます。学校生活はとても安心できます。いつも温かく迎えてくださりありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽しい学校」については、児童、保護者とも肯定的な回答が多く、教師の励ましや寄り添い、承認が児童にとって「楽しい学校」になっていることがわかる。同様に、児童の賞賛について不足していると教師側は感じているものの、先生たちがほめてくれている子どもたちが多い。</li> </ul>	<b>3.4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「一人の子どもも残さない」という姿勢で臨んだ今年度であったように感じる。多様化する子どもの特性を考えながらともに進んできた。しかし、もう少し元気な子どもたちが増えてほしい。</li> <li>○児童一人一人個性を持っている。保護者、先生はそれを見出して伸ばしてあげることが大切。保護者はコミュニケーションをとりながら見守ることが大切で、子どもの興味や選択を受け入れ、それを伸ばすためのサポートを日頃より意識してほしい。様々なイベントと一緒にいき、いろんな大人と関わらせてほしい。</li> <li>○学校、地域、家庭が一つになり、いろいろな行事にそれぞれが協力していただいたことで楽しい学校につながっていたと思います。</li> <li>○小さな問題にも校長先生はじめ対応してくれたことに感謝。</li> <li>○楽しく元気に過ごしている印象が見て取れる。</li> <li>○児童が学校は楽しいと思っていることがうれしい。</li> <li>○先生方が子どもに向き合い、子どもが自分のことを大切に思っていてくれていると感じたことで学校が楽しくなるのだと思う。</li> </ul>
	児童のやる気を引き出す活動と児童の活躍に対する賞賛	② 児童のやる気を引き出す活動を多く取り入れながら、がんばりを認め、賞賛の言葉かけ等を行っている。	3.3	② 学校は、子どもたちのやる気を引き出す活動を多く取り入れながら、がんばりを認め、ほめる取組を行っている。	3.3	② 先生たちは自分のがんばりをほめてくれる。	3.6	<b>3.4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何が原因で言い争いになったのか。」という事をしっかりと聞き取って適切にご指導いただくと有難いです。子供同士のトラブルが原因で学校が楽しくない、行きたくない。という日があります。先生に相談しようかと提案しても本人は相談する勇気も気力もなくなっている状態です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【改善策または継続策】</li> <li>・児童同士のトラブルについては、児童の言い分を丁寧に聞き取るとともに、担任一人では対応するだけでなく、学年の職員や管理職も一緒になって対応していく。児童が、「学校が楽しい!」と家族の会話の中でも話題が出るように、職員一同、より一層の手立てを講じていきたい。</li> <li>・気になる児童に関しては、全職員で共通理解しながら、全職員で見守る体制を整えていきたい。また、関係機関等や地域とも連携を図りながら組織的に対応していきたい。</li> </ul>		
学力の向上【知】	教師力の向上	③ 児童の学力向上のために「わかる授業」や「学習内容の定着の工夫」を行っている。	3.3	③ 学校は、子どもたちの学力向上のために「わかる授業」や「学習内容の定着の工夫」を行っている。	3.3	③ 先生が教えてくれることや授業は、分かりやすい。	3.7	<b>3.4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観で教室に行くと、子供たちが学びやすいようにさまざまな教材が用意され、張り紙なども多数あり、先生の日々子供たちの事を考えている事が感じられてとても感動しています。</li> <li>・学校は楽しいみたいですが、担任によって授業の理解度に差がでて、今はわからないそうです。確かに参観日で拝見しても何をしたいのかよくわからない授業だなと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師力の向上、教科指導においては、多くの児童は先生が教えてくれることや授業は分かりやすいと回答しており、日々の教材研究やICTの効果的な活用が、学習の分かりやすさとして効果をあげていると考えられる。</li> <li>・「家庭学習」においては、我が子の家庭学習に関わっている保護者が多く、児童も忘れずに取り組んでいることが分かる。しかし、宿題を教えることへの不安がある保護者もあり、安心して宿題に関わることでできるサポートを学校側がしていかなければならない。</li> </ul>	<b>3.1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の教職員は学習を分かりやすく工夫して進めているが、家庭学習があまりよくできていないように思える。宿題の丸付けも子どもと一緒に教科書を広げながら学ぶ姿勢があった方がいいと思う。親も1年生から6年生へと成長してほしい。参観にも来てほしい。</li> <li>○宿題で悩まされている保護者が多い。他県の学校での取組も参考としながら、工夫してほしい。</li> <li>○保護者が宿題を安心して、ある程度正確に教えるためには、解答や解き方があるとよい。</li> <li>○花まる先生を1年生にもつけることはできないか。</li> <li>○家での読書習慣をもっと増やしてほしい。</li> <li>○参観日の懇談の出席率を上げる工夫をしてほしい。(お知らせだけではなく、保護者同士の情報交換の場など)</li> <li>○タブレット等を使った先進的な学習ができています。</li> <li>○ICTの活用として、学校での学習の結果や傾向が保護者のスマホで見られるようになるとうい。</li> <li>○本をたくさん読むことは将来への財産。たくさん本を読むべし。</li> <li>○子どもをほめること、自信を与えること、その一言で未来が変わる。</li> </ul>
	教科指導	④ 授業の中で、タブレットパソコンやICT機器等を使いながら一人一人に応じた指導をしている。	3.1	④ 学校は、授業の中で、子どもたちの学力向上のために、タブレットパソコンを使いながら一人一人に応じた指導をしている。	3.2	④ タブレットを使っている授業は、楽しくて分かりやすい。	3.8	<b>3.4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題の丸付けを保護者が行うように求められているが、解答なしでの丸付けは大変に感じる。保護者の答えが合っているのかも自信がないものもあるので、丸付けを求めるのであれば解答が欲しい。また、子どもは毎日頑張っているが、担任の先生からは毎日花丸等もなく押印のみのため、かわいそうに感じる。それなら宿題はなくしてもいいのでは…と思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【改善策または継続策】</li> <li>・今後も、ICT(情報機器)を使うだけでなく、どのように効果的に活用できるかを意識して授業づくりに取り組んでいく。</li> <li>・宿題への取り組みせ方、解答の配付のしかたについて年度当初に学年内でしっかりと検討し、保護者の理解と協力を得られるようにする。</li> <li>・教師相互の学び合いや教材研究の時間の確保を通して、職員の一層の授業力、指導技術の向上に努める。</li> <li>・花まる先生や地域の方々協力を得ながら、授業支援や個別指導の充実を図り、児童の実態に応じた対応を進めていく。</li> <li>・「家読(うちどく)の習慣化」については、保護者が、十分に組み合っていない家庭もあり、学校外であまり本を読んでいない児童もいる。メディアが読書より優先されてしまう傾向もあるため、読書の大切さや取組の工夫を啓発していく必要がある。</li> </ul>		
	家庭学習の習慣化	⑤ 宿題や読み声などの児童の家庭学習に対して、保護者に丸つけや声かけ、励ましなどをしてもらうよう啓発している。	3.2	⑤ 保護者として、宿題や読み声などのお子さんの家庭学習に対して、丸つけや声かけ、励ましなどで関わっている。	3.4	⑤ 家で宿題や宅習などにきちんと取り組んでいる。	3.5	<b>3.4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題の答えを配布またはメールで送ってもらいたい。親と今の子供達では解き方が違う場合があり、へたに教えられない。また上学年になるにつれ親も解くことができない問題があったりするから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題の答えを配布またはメールで送ってもらいたい。親と今の子供達では解き方が違う場合があり、へたに教えられない。また上学年になるにつれ親も解くことができない問題があったりするから。</li> </ul>		
	家読の取組	⑥ 「家読(うちどく)」の取組に向けて、児童や保護者に環境づくりや声かけを行っている。	3.2	⑥ ご家庭で、「家読(うちどく)」の取組に向けて、お子さんが家で本を読むための環境づくりや声かけを行っている。	2.8	⑥ 家でもよく本を読んでいる(読書をしている)。	2.9	<b>3.0</b>				

豊かな心の育成【徳】	よりよい人間関係の醸成	⑦ 児童のよりよい人間関係づくりやいじめを防止するための取組に努めている。	3.4	⑦ 学校は、子どもたちのよりよい人間関係づくりやいじめを防止するための取組に努めている。	3.1	⑦ クラスやまわりの友だちと仲良くしている。	3.8	<b>3.4</b>	・参観日などで子供のクラスをみてみるとクラスの雰囲気がとてもよく、子供達もいきいきと活動していました。 ・男女の仲が良い事に感心します。誰とでも仲良く楽しそうに学校生活を送り、遊ぶ姿が安心できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し、授業で画面を使う機会を減らしても良いかなと思います。メディアコントロールって言うくらいなので。</li> <li>・タブレットを使うクラスと使わないクラスの差があり、あまり使わないクラスからしたらいつでも使えて羨ましいと言う事がある。使い過ぎるのもメディアチャレンジを推薦しているのに…と疑問に思う事があります。</li> <li>・放課後の過ごし方が悪い生徒が目につきます。(道路で広がって自転車に乗ったり、遊んだり、人の敷地に入った)</li> <li>生徒を指導されている時の先生方の言葉遣いが気になる時があります。子供は真似をしますので、汚い言葉はつかわないでほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止については、アンケート等による実態把握から、教育相談、いじめ対策委員会での情報共有、指導・観察・見届けというサイクルにより、学校全体で取り組むことができた。ほとんどの児童が、周りの友達と仲良くしていると回答している。</li> <li>・校内では積極的にあいさつができる児童も多いが、あいさつをしても返せない児童もいる。また、登下校時や地域でのあいさつは今一歩である。</li> <li>・メディアコントロールの取組を年2回実施した。この期間は家族の協力のもと、スマホやタブレットといったメディアとの付き合い方を考えることができていた。</li> <li>・放課後の地域での過ごし方について、地域の方に迷惑をかけるような行動が見られた。</li> </ul> <p>【改善策または継続策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のいじめアンケートや児童の観察をもとに、いじめを見抜く教師の目、絶対に許さないという学校全体の雰囲気が醸成されるような研修、対策会議を継続的に実施していく。</li> <li>・全職員、保護者、地域を巻き込んだ「あいさつ運動」を推進する手立てを工夫する。</li> <li>・メディアコントロールの取組については、各家庭の取組も情報共有しながら、他の家庭の参考となる資料を提供していく。</li> <li>・問題行動が起きた場合は毅然とした対応をとるとともに、通信や安心メール等を通して情報を発信し、保護者とともに児童の規範意識の向上を図る。</li> </ul>	<b>3.2</b>	○交通ルールやメディア使用のことで問題があるように思える。自分のことがきちんとできること、他の人にも気を配れる豊かな心が育つよう、地域の力添えがもう少し。	
	あいさつの励行	⑧ 地域や家でも、児童がしっかりとあいさつができるように指導や声かけを行っている。	3.1	⑧ ご家庭で、地域や家でもお子さんがしっかりとあいさつができるように指導や声かけを行っている。	3.5	⑧ 家や地域でもあいさつや返事をきちんとしている。	3.7	<b>3.4</b>					○メディアやゲームで簡単に命を奪ったり物を略奪したりすることに夢中になっている児童の行く末は…と考えたとき、ショックを感じる。他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心などを育てるために、地域ができることはたくさんあると思う。	○登下校のあいさつができていない子が目立つ。
	メディアコントロール	⑨ メディア(スマホ・タブレット・ゲーム等)の適切な使い方について、適宜、指導している。	3.1	⑨ メディア(スマホ・タブレット・ゲーム等)の使い方についてお子さんと話し合い、家庭でルールを決め、約束を守らせている。	3.1	⑨ 携帯・スマホ、タブレット、ゲームの使い方のやくそくを守っている。	3.4	<b>3.2</b>					○先生方も大変だとは思いますが、朝、交代で10分でもいいのであいさつ運動に加わってほしい。	○財光寺小ができていないというわけではないが、問題が起きたときに「学校側の対応に問題があったのではないか」という視点で対応してほしいと思います。真実は分かりませんが、ニュースなどで「いじめ」の話題が出ると学校や教育委員会の煮え切らない姿勢に対して残念に思うからです。
	きまりを守る	⑩ きまりや社会でのルール・約束を守る大切さについて指導を行っている。	3.5	⑩ 学校は、きまりや社会でのルール・約束を守る大切さについて指導を行っている。	3.4	⑩ 学校のきまりや約束をきちんと守っている。	3.6	<b>3.5</b>					○逆に大人の方ができていない。	○登校時のあいさつはよくできているが、帰り道のあいさつはできない子も見られる。
体力の向上【体】	体力向上	⑪ 体育の授業や外遊びの推進等により、体力づくりに取り組ませている。	3.1	⑪ 学校は、体育の授業や外遊びの推進等により、体力づくりに取り組んでいる。	3.3	⑪ 体育の授業や昼休みの外遊びで体をたくさん動かしている。	3.6	<b>3.3</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動である外遊びについては学校をあげて推奨しており、昼休みにはたくさんの児童が外遊びを楽しんでいた。職員も可能な限り運動場に出て、児童と一緒に体を動かすようにしている。</li> <li>・体力向上の一環として、3学期に長なわに全校で取り組むことにした結果、授業や昼休みを使って、長なわに取り組む姿が見られるようになった。</li> <li>・むし歯の治療率が低い。更なる啓発が必要である。</li> <li>・食に関する指導については、市内の栄養教諭との連携を図った食育授業を計画的に各学年で実施することができた。また、食物アレルギーの対応については、誤飲誤食等がないように、関係職員で万全な体制をとりながら対応をしている。</li> </ul> <p>【改善策または継続策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上プランをもとに、継続して体力づくりに取り組めるよう、工夫した取組を実施していく。</li> <li>・感染症が流行した場合は、安心メールを使ってできるだけ早く保護者に伝達するように努める。</li> <li>・むし歯の治療率を高めるため、保護者への働きかけをしていく。</li> <li>・栄養教諭や外部講師と連携しての食育授業を継続するとともに、偏食や少食の児童に対し給食の意義を理解させ改善を図っていく。</li> </ul>	<b>3.4</b>	○朝の登校時、元気がない。朝食や睡眠などに十分な心配りがないような気がする。運動会では、元気のよい、きまりよい姿が見られてよかった。		
	望ましい生活習慣と健康管理	⑫ 児童の健康管理や生活リズムの定着に向けての取組や指導の工夫を行っている。	3.0	⑫ 学校は、子どもたちの健康管理や生活リズムの定着に向けての取組や指導の工夫を行っている。	3.3	⑫ 毎日の歯みがきや朝ごはんなど、健康のためにきまりよい生活をしている。	3.7	<b>3.3</b>				○帰宅後の体力づくりを保護者と一緒に取り組んでほしいです。		
	食育指導	⑬ 食育の充実を図るとともに、食物アレルギー等への対応を適切に行っている。	3.5	⑬ 学校は、食育の充実を図るとともに、食物アレルギー等への対応を適切に行っている。	3.6			<b>3.6</b>				○学校で流行っている病気の情報発信をしてほしい。	○むし歯の治療の必要性の発信を推奨してほしい。	

地域とともにある学校	コミュニティスクール	⑭ 体験活動や地域の人材、資源を生かした学習活動を積極的に行っている。	3.1	⑭ 学校は、体験活動や地域の人材、資源を生かした学習活動を積極的に行っている。	3.5	⑬ 校外での学習や地域の人との学習に楽しく取り組んでいる。	3.7	<b>3.4</b>	<p>・保護者一人一役で活動をしているが、全く参加せずLINE等も無視をする家庭がある。こっちも子供の習い事や仕事を調整してやってるのに不公平感が強い。</p> <p>・PTA活動の見直し</p> <p>・お忙しい中、先生方が出してくれる学級通信を楽しみに、ありがたく読んでいます。いつもありがとうございます！</p> <p>・安心メール等を活用したお知らせは、いつでも確認が出来るので助かっています。</p> <p>・以前はホームページの更新を沢山していたが、最近はあまりされていない(特に給食の献立)。学校の様子が分かるように、もっと更新してほしいです。</p> <p>・参観日や週に一度の学級通信以外にも学級内の様子がわかるもの(配布物)があるといいなと感じました。</p>	<p>・地域と連携した活動については、地域コーディネーターに尽力していただき、計画・実施することができた。</p> <p>・PTA活動においては、コロナ禍を経て、当たり前に行われてきた活動に対する見方が変わったこともあり、見直しの声が上がってきている。今の時代に合ったPTA活動の在り方を模索していくことが求められている。</p> <p>・地域活動への参加については、育成会との兼ね合いもあり、学校だけで取り組めるものではないが、学校でできること(地域活動の周知と呼びかけなど)を積極的に行っていきたい。</p> <p>・安心メールによる情報発信は積極的にできたが、ホームページを通した学校の取組やお知らせの周知については今一歩であった。</p> <p>【改善策または継続策】</p> <p>・PTA総会や保護者が集まる場面で、学校から発信すべきことや小中一貫教育、コミュニティ・スクールの意義、地域行事、PTA行事に参加することのよさやメリット等についてより積極的に発信していく。</p> <p>・PTA組織の在り方については、保護者の声も参考にしながら、計画的に見直しを図っていく。また、学校行事やPTA行事の精選と計画の改善を行いながら、保護者がより参加しやすいように工夫していく。</p> <p>・ホームページの定期的な更新や安心安全メールを活用した積極的な情報発信を心がけるとともに、情報を受け取る側の立場に立った情報発信の方法を模索していく。</p>	<p>○今年度は育成会からの離脱もあり、PTA活動も少し寂しいところを感じました。保護者の参加が少ないようです。もっと地域や学校を身近に感じられる環境づくりを頑張る必要があると思います。</p> <p>○コミュニティスクールの活動を活発にしたい。地区の公民館での活動、防災・避難訓練に参加、餅つき大会、敬老会など。</p> <p>○コミュニティスクールに関しては、地域の人たちの協力を得て一つ一つの行事を行うことができたことに感謝。</p> <p>○コミュニティスクールは家庭や先生は年々変わっていく中で地域の人材はほとんど変わらずに継続して関わっていけることがメリットであるため、地域の一員としてずっと協力していきたい。</p> <p>○PTA活動や通信などは、全国の事例も調べながら、ITを活用したよりより活動に進化できるといい。</p> <p>○今の時代、PTA活動や育成会活動は時代の流れか価値観の違いで難しくなっている。</p> <p>○地域行事に参加することは、子どもの安全にもつながります。そのために、関係者は子どもたちが地域の活動に参加できるよう、話し合を進めていく必要があります。</p>
	PTA活動の取組			⑮ 保護者として、PTA活動や地域での活動に積極的に参加している。	2.8			<b>2.8</b>			
	地域活動への参加			⑯ 地域で行われるさまざまな行事や活動に、お子さんを積極的に参加させるようにしている。	2.8			<b>2.8</b>			
	情報発信	⑮ 通信や学校HP等を通じて、学校内外の情報を分かりやすく発信している。	3.1	⑰ 学校は、通信や安心安全メール、ホームページなどを通じて、学校内外の情報をわかりやすく発信している。	3.4	⑭ 地域の行事や活動にすすんで参加している。	3.4	<b>3.3</b>			

2.6

小中一貫教育に関する自己評価

①	ランドデザインは、職員の共通理解が図られている。	2.5
②	ランドデザインは、家庭や地域の理解が図られている。	2.3
③	めざす児童生徒の姿の実現のために、中学校区内の学校で共通実践が進められている。	2.8